

2016 年度

アメリカ留学報告書

実習先：ノースウェスト・ミズーリ州立大学

実習期間：8月24日（水）～12月17日（土）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21015040

呉座谷 美可子

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
4 - 1	研修のスケジュール	4
4 - 2	研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：ノースウェスト・ミズーリ州立大学 ESL クラス

研修期間：平成 28 年 8 月 24 日（水）～平成 28 年 12 月 17 日（土）

※帰国は 12 月 18 日（日）

2 研修先概要

(1)大学について

ノースウェスト・ミズーリ州立大学は 1905 年に創立され、質の高い教育に定評があります。学生数は 6,200 名で、専任教員は 235 名います。場所は、ミズーリ州メリーヴィル市にあり、人口 11,000 人ののどかな地方です。キャンパスはミズーリ州の景勝地として認められています。治安は非常に安全で、1994 年、独立調査機関により全米第 4 番目に安全な大学（ミズーリでは第 1 位）に認定されました。

全学的にコンピューター・ネットワーク網が敷かれたエレクトロニック・キャンパスで、全寮室に PC を備え、キャンパス内に 2,400 以上のコンピューター・ステーションがあります。世界 38 カ国、全米 42 州からの学生が学んでいます。マスコットはベアキャットです。

(2)大学で行われている教育について

ノースウェスト・ミズーリ州立大学は、質の高い教育を行っていることと、多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。自分の学習したい科目を充実した環境の中で学習を行うことができる。今回お世話になる語学コースは、英語を母語としない学生に英語の教育を行うものである。英語が苦手な学生も基礎からしっかり学習することができる。

3 研修目的

今回の研修の目的は、アメリカの文化に直に触れることである。食文化や生活習慣だけでなく、サンクスギビングなどのアメリカ独自の行事に触れ自分の肌でアメリカの文化を感じたい。他にも、学校の様々なイベントに参加して大学の学生と交流を広げたい。現地できた友人やホストファミリーに日本の文化を少しでも伝えたい。そして話す力と読む力をしっかりとアメリカで身につけたい。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1(9:00~9:50)	Reading	Reading	Reading	Reading	No class
2(10:00~10:50)	/Writing	/Writing	/Writing	/Writing	
3(11:00~11:50)	Grammar	Grammar	Grammar	Grammar	
(12:00~13:00)	Lunch				
4(13:00~13:50)	Listening /Speaking	Listening /Speaking	Listening /Speaking	Listening /Speaking	
5(14:00~14:50)	NUIS project	TOEIC preparation	Culture class	TOEIC preparation	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)Reading クラス

毎日午前中 2 時間アメリカの宗教や歴史、政治や食文化などテキストを読み学ぶ授業。

宿題で次の日の範囲の進出語句の意味を調べてきて、翌日に単語テストをした。

1つの章が終わると **writing** の授業をはさんでまた次の章へと進み、毎回章の終わりに小テストを行った。

先生から自分の国のことや自分の意見を要求されたときが多々あった。

ii)Grammar クラス

毎日 1 時間、テキストを使いながら文法について丁寧に学習する。

毎日オンラインの宿題があり、1つの章が終わると毎回小テストがある。

授業中にグループで学習することもよくあった。

iii)Speaking クラス

毎日午後に1時間、テキストを使いながら学習する。

章の終わりに毎回テストとスピーチのテストがある。

iv)TOEIC クラス

毎週火曜と木曜に1時間ずつテキストを使いながら学習する。

毎週火曜日に単語のテストをして宿題の答えあわせとテキストを使って新しい問題を解いた。

前半はリスニングの学習を中心に、後半はリーディングの学習を中心に学習した。

留学最終日の前日に TOEIC を受けた。

v)American culture クラス

いくつかのグループに分かれて、グループごとにアメリカの文化について学習し、パワーポイントなどを使い、各グループ発表した。ルームメイトなどに意見を聞いたりした。

毎回いろいろな分野について発表を聞き、知識を深めた。

vi)NUIS project クラス

毎回学校のことやアメリカの文化などの紹介動画を撮影した。

vii) AB program

現地の学生が2人ついてくれて週に一回一緒に学校のイベントや学外に出かけて交流を深めた。

週明けに前の週にあったことをまとめ、アクティビティレポートを提出した。

viii)CP program

ESL の生徒2人に対して現地の学生が1人ついて週に一回1時間話して交流を深めた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)学校のイベントに参加したこと

週に必ず参加しなくてはならないイベントはもちろんそうでないイベントにも気になるものがあれば参加した。アメフトを観戦したり、音楽会にも行ったりした。二週間に一回行われていた COFFE HOUR という留学生が集まってコーヒーを飲みながら交流を深めるとい

うイベントは欠かさず行った。イベント以外にも週に一回聖書を読んだり聞いたりする CCH というクラブにも所属していた。

ii) 日本の文化を伝えること

特に AB (アクティビティーバディー) と活動するときはよくアメリカと日本で比較したり日本のことに質問されることが多くあったので写真などで説明したり日本語やひらがな、カタカナを教えたりした。他にも FIS ファミリーに日本の食を紹介するときに実際に日本のルーでカレーを作った。現地でできた友人には抹茶味のキットカットをあげたりした。

6 反省・課題

四か月という短い期間だったが毎日新しい発見の連続でとても楽しい日々でした。毎日の授業に加え、AB・CP など ESL クラス特有のプログラムやサンクスギビングの期間のホームステイなど充実したプログラムがたくさん用意されていてとても充実した 4 か月を過ごせた。今回の留学で学んだことをこれからの大学生活に活かしていきたい。そして、今回出会った友達や先生、FIS ファミリーとの連絡も続けたい。

謝辞

今回、大学生にて懇切丁寧な指導をしてくださった Mrs. Hardee さん、Mrs. K さん、Dr. Foot さん、ホストファミリーの Darlene King さん、Larry King さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の夏期セミナー担当で 2015 年度前期の授業、夏期セミナーの現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本直生先生、矢口裕子先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本セミナー参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

サンクスギビング ブレイク

11 月 22 日の夕方から 27 日までサンクスギビングの期間 FIS ファミリー (ホストファミリー) の家で過ごし、初日は FIS ファミリーが学校まで迎えに来てくれ、孫のバスケットボールの試合を観に行った。次の日は、サンクスギビングの前日だったので大型スーパーへ材料や食材を買いに行った。その日の夕方は、FIS ファミリーの家と一緒に暮らしているオランダ人と一緒にダッチアップルパイを作った。サンクスギビング当日は朝から料理を手伝いながら親戚が集まるのを待った。親戚が集まったらみんなが持ち寄ったターキーや

パンプキンパイなどの料理を食べ、その後は孫と一緒に遊んだ。ブラックフライデーの日は家族で朝 5 時に家を出発し、1 時間ほど離れたショッピングモールへ出かけ洋服や雑貨を買った。最終日は、親戚のおばさんと学校の近くで食事をした。

卒業パーティー

午後 5 時から式は始まり、当日は FIS ファミリーやアクティビティーバディやキャンバスエイションパートナーが観に来てくれた。賞状を受け取りお世話になった ESL の先生の話聞いた後、来てくれた友人や FIS ファミリーと写真を撮り、最後の会話を楽しんだ。その後、みんなで持ち寄ったご飯やお菓子を食べながらスライドショーを見て留学生生活を振り返った。